



【元カノとの復縁体験談事例 2】

男性Kさん（22歳）

女性Sさん（21歳）

ともに大学生。

付き合っていた期間：1年半

復縁までに要した期間：9か月

この文章は復縁成功したKさんのメールをそのまま転載しています。



なお、許可は取っており、重要な部分のみ装飾をさせていただきました。

今回ももちろん、復縁体験談と合わせて後半に復縁における重要ポイントもお話していますので、じっくり読んでみてください。

今回のポイントは

- ・ 同じ学校（職場）での復縁
- ・ 嫌われてしまった所からの逆転方法
- ・ 元カノに新しい彼氏ができてしまった場合の復縁方法

ですね。

それでは、どうぞ。

こんにちは、Kです。

まず、最初にですが、僕はあまり自分のことを文章で書くのが得意ではないので、わかりづらい部分があるとは思いますが、お付き合いいただけますと幸いです。



今回の文章もヒロシさんに何回もメールして、読みやすいように整理してもらったので、少しでも復縁を目指す皆さんの参考になれば、と思います。

僕と元カノは両方とも大学生で、同級生同士でした。

大学4年生で、就活前に別れて、就活が終わった時期に復縁のきっかけをつかんで復縁できた、という感じですね。

振られた理由なんですけど、僕が彼女を大好きすぎて依存してしまっていたからです。

大好きすぎて大好きすぎて、彼女が飲みに行くのも、他の人と遊んでいるのも、自分より優先されていたみたいで、それが女々しかったんでしょうね。

復縁活動を通して、本当に、心から振られてしまった理由がわかりました・・・。

当時の僕は、流されるまま生きていて、特に楽しいこともなく、夢もなくぼんやり生きていて、彼女という時間が一番楽しかったんです。



「依存してるから振られたんだよ」、とヒロシさんに厳しく指摘されてしまったのはいい思い出です。笑

大学のサークルが一緒に、意気投合して一気に付き合うことになって、1年ぐらいはとっても幸せでした。

でも就活が近づくにつれ、彼女はやりたいことも明確で、明るく、交友関係も広く、資格も取っている一方で、僕は何もない空っぽな人間で自分が情けなくなっていたんです。

自分に自信がないから、人に満たしてもらうために依存してしまっていたんですね、情けない話です。

そんな男についていきたいか、と言われるとそれはNOですよ。 （これは実際にご指摘していただいた言葉です。笑）

そして、元カノとの別れは突然で、年始にやってきました。

理由は「就活でお互い忙しくなると思うから」と言ったよくある理由。

でも、当時の僕にとっては彼女は僕の全てだったので、別れたくない、復縁したいとすがってしまいました。



何度も何度も電話して、LINEをして、彼女は優しいので返してくれていたのですが、最後に本音を言われてしまいます。

「しんどい、重たい、辛い。」

と。

それを聞いて、ハッと我にかえりました。

「自分のことしか考えていない、彼女をこんなに苦しめている。」

そこで改めて自分の器の小ささに気がついたのです。

スイッチの入る瞬間というか、そんな感じでした。

そこで、改めて元カノに謝り、感謝を伝え、「お互い就活頑張ろう」と冷却期間に入りました。

それまでは、なんとなく期待していたんですね。

彼女はあんなに自分のことを好きでいてくれたのだから、今も自分のことが大好きなはずだ、と。



でも、実際は違うんだ、とここで気づきました。

ただ、そんな簡単に忘れられるわけがありません。

苦しかったです、何度もへこたれました。

でも、そんな弱い僕が嫌になったんだらうな、と思うと、自分に腹が立ち、より一層頑張れたというのもあります。

よっぽど、僕は情けない空っぽな自分自身が嫌で変わりたいと思ってたんでしょね。

そこで、運が良かったのは、僕に就活というのめり込める、ものがあつたことです。

目の前に本気で取り組めるものがあつたから、僕は彼女のことを忘れて、頑張ることができました。

自分が今までどんな人生を送ってきて、どんなことが好きで、どんな時に幸せと感じ、どんな時に苦しいのか、を本気で考えました。



そこで思ったのは、何もないと思っていた僕も、水泳を本気で頑張ったり、受験勉強を頑張ったり、サークルを楽しんだりしていた時期があったんだな、ということ。

そして、それにのめりこんでいるときは、いつも楽しかったように思います。

そんな時に彼女とも出会って、何かに楽しんでいたり、明るい僕だから彼女は僕を好きになってくれたんじゃないかな、と気づきました。

そう、これこそがまさに「強者の復縁戦略」の女性の本能（無意識）の部分ですよね。

だから、余計に就活にのめり込むように頑張りました。

友達が面接10社受けるっていったら、自分は100社、とそれぐらいの勢いだったように思います。

でも、それぐらい本気でやらないと、絶対復縁できない、とも思えました。



それはヒロシさんに強い檄をもらえていたというのも大きかったですね。

また、冷却期間を取っていたので、元カノとの接触をできるだけ避けるために僕はサークルにはいかないようにしていました。

元カノとはサークル以外では会うこともないので、就活が始まってからは、全然会いませんでしたね。

もちろん、しんどい時期もあって、3日間グータラした時もあります。

でも、決して諦めることはなく、焦ることなく、ゆっくりでも前に進んでいった、という感じですね。

で、面接をやっていく上で、何かに本気で取り組んでいることに自信がつき、面接もうまくいくようになってきました。

これが結果を出す喜びというやつか・・・と思いながら、毎日頑張っていると、自然と毎日が楽しくなります。



僕はこれといってやりたいことはまだまだ見つかってはいませんが、長所として、「与えられた環境で努力できること」には自信があったので、その思いをぶつけていきました。

「どんな仕事をするにしても、誰よりも本気です。」

そのことを面接官に伝え、結果、内定が2桁以上もらうことができました。

これははっきりいって、元カノに振られなかったら、成し遂げることはできなかったことです。

「こんなうまくいっていいんだろうか」と思うかもしれませんが、でも、その分誰よりも努力した自信はあります。

ただ、面接での質問に対する答えとかも丸暗記なんてものは一切しませんでした。

何をしたかというと、本気で熱意を伝える、そして、この人なら仕事を任せても大丈夫だ、と思わせること。

それには自信が必要だったんですが、それも量を経っていくうちに自然と身につきました。



何というか思ったのは、僕は、あの時、自分を徹底的に磨くことで今を楽しんでいたんです。

もちろん、圧倒的に器の大きい強者になって、元カノを惚れ直させるために。

ヒロシさんから教わった強者の復縁戦略で元カノと復縁するためには、元カノに別れたことを後悔させなければならない。

人は手放したものが価値のあるものだとわかった瞬間に猛烈に後悔し、取り戻したくなる「ゲインロス効果」を思い切り利用してやろうと思いました。

「別れるんなかった」と元カノに思わせて、見返して復縁してやるんだ。

その一心で、僕は徹底的に自分を磨いていました。

これはヒロシさんに教わった通りのことですね。

そして、内定をもらったので、サークルにも顔を出すようにしました。



ついに、冷却期間の終わり、です。

そこには、元カノもきていましたが、就活はうまくいって
いないようでした。

もちろん、内定をいくつかはもらっていたんだろうけど、
第1志望～第3志望は全滅で第4志望の会社に進むかな、
とのこと。

元カノと最初話すのは気まずいかな、と思ったのですが、
「就活」という共通の話題と、共通の知人がいたので、自
然とみんなの輪の中で話ことができました。

僕にとってはこの共通の知人というのが大きかったかもし
れません。

就活を終えた後は、不思議と元カノとの復縁は、ほとんど
とっていいほど考えることはなくなりました。

それは、「好きじゃなくなった」とかそんなんじゃなくて、
「別に復縁できなくても楽しい」、って感じです。

言葉で表現するのは難しいですけど。



つまり、簡単にいうと、元カノに依存することなく、自立できるようになったということだと思います。

輪の中で自然と僕の就活の話題になりましたが、「まあ、いい感じで終わったよ」とぼやかすように伝えました。

「秘密にしておくことで知りたい、と思わせるため」ですね。笑

そんなこんなで冷却期間後の最初の再会を終えたのですが、そこで自然とサークルに顔を出せるようになったのは良かったです。

そして、何回かサークルに顔を出すようになって、帰り道に元カノと2人で帰ることになった時にこんなことを言われました。

「なんかK、変わったね…。」

と。

僕はあんなに大きな存在だったはずなのに元カノが小さく見えました。



このことについて、ヒロシさんに教えていただいたことは、
「自分が成長したから、相手が相対的に小さく見えたのだ」
とのこと。

でも、この時の僕は自己評価で「まだまだ」、と
思っていたので、別に勘違いするわけでもなく、
このまま頑張ろう、と思っていました。

でも、元カノは就活でかなり凹んでたようで、
ご飯に行って話を聞いてほしいということで、
ご飯に行くことに。

そこで、決して復縁を迫ることなく、話を聞いて理解に徹し
てあげて、付き合う前のような状態になりました。

LINEもするようになって、サークルでも顔を合わせ、
時々帰りにスタバに寄って・・・とこんな生活が
1ヶ月くらい続きます。

警戒されないためにも、僕からは決して「復縁しよう」と
は言いませんでしたし、感じ取られないようにしていました。



そんな毎日を送っていた時に、帰り際に、元カノに言われた言葉で僕は「復縁できる」と確信することに。

**「なんか好きだった頃のKって感じ。
懐かしいなあ。」**

僕と付き合う前のことを懐かしいと言ってくれ、なんとなくこの言葉が復縁の脈ありサインなのだと思います。

ただ、いきなり復縁してくれ、とも言いづらかったので、ちょっと気持ちを確かめることに。

僕が言ったのは「何言ってんだよ、あの頃よりは数倍マシだと思っぜ。笑」という言葉です。

ふざけた感じで、でもそれは本心で、あの過去の自分よりもはるかに自分が好きだったので、自然とこの言葉が出ました。

「うん、うちもそう思う。」

と彼女はいいました。



「でも、それはSのおかげよ。振られる前は中身のないしょうもない人間だったもん。」

「あの時はね、いろいろ重なってしんどかったし。」

「うん、でも今ならうまくいくと思う。」

「うん、今のKならもっと一緒にいたいかな。」

・・・そして、僕たちは無事復縁を果たすことに。

本当、かっこいい感じとかドラマチックな感じじゃないですけど、こんなもんなのかな、と思います。

ただ、ここで僕が改めて思ったことを言わせていただくと、僕と彼女の充実度だったり、精神状況が大きく影響しているな、と感じました。

そういう意味でもヒロシさんに最初にもらったアドバイス、

「決して焦ることなく冷却期間をおいた方がいい」

という言葉が復縁をもたらしたように思います。



とにかく元カノと復縁することができた僕がみなさんに伝えたいことはこれです。

元カノと復縁し、愛され続けるためには、常に自分を徹底的に磨いて自信と余裕を持っておかねばならない

ということ。

そして、もう1つ告白すると、実は冷却期間が終わって、元カノと接するようになった時、

元カノにはすでに新しい彼氏がいました。

ただ、その僕と再会をして、何度かご飯やスタバに行く中で彼女はその彼氏と別れています。

なぜかというと、その新しい彼氏が重たくて、やっぱり僕の方がよかったとってくれていたのでからなんです。

後になってわかったことですが、結局、これも女性の本能ですよ。

女性は本能的に魅力的な強い男に惹かれる。



それは元カノに新しい彼氏がいたとしても全く関係なく、その彼氏よりも魅力的になってしまえば復縁できるということ。

実際に、僕の彼女も新しい彼氏とは別れていましたから。

ヒロシさんがよく言う、

「女性自身も本能には抗うことができない」

これは本当です。

だからこそ、元カノが別れたことを後悔するようになっ
いい男になってください。

そして、元カノを取り戻して元カノを幸せにしてあげましょ
う。

皆さんも頑張ってください。

下手な文章ながら、お付き合いいただきありがとうございました。



【今回の体験談のポイント】

・元カノへの依存、束縛は別れの原因になりやすい

Kさんもお話をしてきましたが、実を言うと、彼女への依存や束縛というのは別れの原因になる可能性が非常に高いんですね。

その理由も実はシンプルで、女性は本能的に強い男を求めているからです。

普通に考えてみて欲しいのですが、狩りや仕事にも出ずに、彼女のことばかり考えている男性が魅力的でしょうか？

違いますよね。

女性は愛してくれる男性が好きとよく言われますが、そうではなく、強い男に愛されることを欲しているのです。

だから、仕事や勉強、スポーツなどに一生懸命取り組み、徹底的に自分を磨いて強い男になるとというのが非常に効果的ということですね。

女性に依存するのではなく、女性を守れる強い男に。



・元カノとの復縁のカギとなる「ゲインロス効果」

今回、Kさんが少し触れていましたが、元カノとの復縁で鍵を握るのはなんと言っても「ゲインロス効果」です。

ゲインロス効果とは、一度手放したものが価値のあるものだと言った時に、もう一度取り戻したいと思う人間の性質。

つまり、元カノと復縁するために冷却期間を設けて、徹底的に自分を磨き、魅力的な男になっていれば？

そう、ゲインロス効果が働くのです。

一度別れたはずの彼氏が魅力的な男性になっていると、元カノは「別れるんなかった」と思うようになります。

これこそがまさに強者の復縁戦略のキモ。

元カノと復縁したいのであれば、復縁を迫るのではなく、あなたが魅力的な男になって後悔させるのが一番効果的なのです。

参考：[元カノと復縁したい！ヨリを戻す具体的な方法は冷却期間とゲインロス効果！](#)



・冷却期間再開後のアプローチでは復縁を焦らない

Kさんが素晴らしかったのは、冷却期間後の元カノへの対応ですね。

自然な再会を果たすことができたなら、どうしても復縁したい気持ちでいっぱいになり、アプローチしたくなってしまうもの。

しかし、Kさんは決して焦ることなく、元カノに復縁を迫らなかった。

そう、元カノの話を徹底的に聞いて理解することに努めていたんですね。

何度も何度も言うように、復縁はあなたの気持ちだけで完結するものではなく、大事なものは、元カノの気持ちです。

だからこそ、復縁を迫ることなく理解に徹する、一緒にいる時間を楽しむことで元カノの気持ちを盛り上げることができ、復縁をすることができるというわけですね。

[参考：元カノとの復縁は冷却期間後のアプローチがカギを握る！？](#)



・元カノに新しい彼氏がいたとしても余裕で復縁できる

元カノとの復縁を目指していくときに、多くの人が「元カノに新しい彼氏ができたらどうしよう」と悩みます。

ただ、今回の事例を見たらわかるように、全く問題ありません。

新しい彼氏ができたとしても、全く問題なく復縁できます。

なぜなら、何度も言うように、女性は本能的に魅力的な男性を求めているから。

そう、元カノに新しい彼氏ができたとしても、あなたがその彼氏なんて相手にならないくらい圧倒的に魅力的な男になってしまえばいいだけの話なんです。

そうすれば、元カノはあなたを選びます。

だからこそ、あなたがすべきことは決して焦らず自分を磨き、ゲインロス効果で元カノを後悔させること、ですね。

参考：元カノと復縁したいなら復縁したいと思わせる器の大きな男になれ！

